

# 高速信号測定に適した ハイエンド計測器を発表

- 統合ソリューションによる新しいコンピュータ・アーキテクチャの設計 -

米国オレゴン州ビーバートン、1999年6月1日 — Tektronix, Inc. (ニューヨーク証券取引所コード名 TEK) は、本日、RAMBUSや次世代マイクロプロセッサなど、高速信号測定に適した新しい機器を発表した。この新しい統合ソリューションにより、デジタル設計およびソフトウェア設計エンジニアは、パワフルなアキュイジション、測定のカスタマイズ、より詳細な分析を通じて、現在最も困難とされる設計のデバッグ、試験、特性評価を簡素化できる。

統合ソリューションとして、TLA 714型/720型ロジック・アナライザ、TDS694C型デジタル・ストレージ・オシロスコープ (DSO) およびプローブなど、時代の先端をゆく性能を備えた新しい機器から構成されている。これらの機器の併用により、時間相関性のあるトリガ機能や、DUT (被測定回路) に対する機器の拡張性をも充実させることが可能になる。

「デジタル設計エンジニアは、市場に送り出す時間を競う過酷な条件のもとで、技術的に激しく変化する環境で作業しています。」と、当社計測事業部マーケティング部長のステイブ・イエニング氏は語る。「この新しい統合ソリューションは、RAMBUSや次世代マイクロプロセッサなど最も困難な設計分野で、より優れた計測および分析機能を実現します。」

## 高速、多チャンネル、ロング・メモリを実現した新型ロジック・アナライザ

新製品TLA 714型/720型ロジック・アナライザは、従来のTLA 704型やTLA 711型に置き換わる製品である。次世代マイクロプロセッサ設計をサポートする上で不可欠な、業界最先端のアクイジション速度、チャンネル数、メモリ長を兼ね揃えている。16 Mと業界で最も長いメモリを持つTLA 714型/720型には、ロング・メモリの管理を簡素化するハードウェア支援型のディスプレイ・システムも備わっている。

最高408チャンネルがマージンでき、次世代マイクロプロセッサに対応。また、マルチバス・アプリケーション用に、ひとつのメインフレームで最高680チャンネルを使用できる。新しいTLA 700シリーズも、従来製品で使われていたアクイジション技術MagniVu™を受け継いでおり、各ロジック・アナライザ・モジュールではすべてのチャンネルで同時に500psのタイミング分解能を実現。またこの技術により、200MHzの同期アクイジションおよび400MHzのデータ・レートも可能となっている。TLA 714型/720型はまた、同じプローブで200MHzのステートと2GS/sのタイミングを同時に取り込める唯一のロジック・アナライザでもある。

新しいTLA 700シリーズは、操作が簡単なWindows 98のユーザ・インタフェース、オリジナルのTLA 700シリーズにおけるカスタマからの強い支持に応え、さらにオープンになったPCプラットフォームを特長としている。当社はまた、システム・ツール・パートナー・プログラムを開設し、TLA 700シリーズの開発およびデバッグ・ソリューションを配布する予定だ。ソリューションは、ソフトウェアや分析ツールの提供から、物理的なプロセッサの接続、ロジック・アナライザで実行中のソフトウェアの逆アセンブリに渡る。プログラムには19の提携会社、424の支援会社が含まれている。

これらの機能は、TLA 700シリーズの前モデルの価格を上回ることなく提供される。ユーザは性能をアップグレードすることにより、投資を節約できる。

## 多チャンネルでの単発取込みにおける最高周波数帯域を実現した新型DSO

TDS694C型DSOは、4チャンネル同時の単発取込みにおいて3GHzを実現した唯一のオシロスコープである。高いアナログ周波数帯域、全チャンネル同時の10GS/sサンプル・レートおよび信頼性の高いタイムベースにより、15psのタイミングを精確に計測できる。広帯域FETプローブおよび1.7GHz差動プローブなどのインテリジェント・プローブにより、DSOの性能を最大限まで引き出すことができる。

標準計測および統計機能に加え、TDS694C型には、Javaを実行することにより特定のジッタやタイミング分析などの計測を行うオプションも備わっている。これにより、ユーザはジッタ特性を評価することができる。

## 総合ソリューション

次世代マイクロプロセッサのクロック・スピードは1GHzを超すことが予想され、クロックのジッタに対する許容範囲が設計上の主な焦点となっている。一方、バスのスピードがシステムの妨害要素となっており、RAMBUSなど、これらの困難を克服した新しいバスの開発が進められている。エッジ・タイミングとジッタの特性が評価できるよう、TDS694C型では高精度な立上がり時間およびタイミングの計測、および特殊なジッタ計測を可能にしている。TLA 700シリーズは、特殊なRAMBUSアプリケーション・パッケージにより、複雑なRAMBUSデータ・プロトコル解析を簡素化している。これにより、問題発生時には、広帯域プローブにより信号の整合性を維持しながらTLA700シリーズでトリガし、その時の信号をTDS694C型で確認することで、システム性能の確認および設計のデバッグが可能になる。

当社は、計測器、カラー・プリンタ、およびビデオ/ネットワーク事業を通じて、カスタマに最新テクノロジーを提供している。米国オレゴン州ウィルソンビルに本社をかまえ、海外26カ国および米国で事業を展開している。同社は1946年創立、1998会計年度の収益は21億ドルを計上している。

###

TektronixはTektronix, Inc.の登録商標であり、MagniVuは同社の商標です。その他の製品名は、該当各社の標章、商標、または登録商標です。